

新市建設計画の基本方針

1．計画策定方針

(1) 趣旨

本計画は、笠間市、友部町及び岩間町が合併して新たに誕生する新市のまちづくりを進めていくための計画とし、新市の発展と住民福祉の向上を図るものとし、

また、この計画は、合併特例法に基づく様々な財政措置を受けるための前提となるものです。

(2) 構成

本計画は、新市建設の基本構想とそれを具体化するための分野別計画、公共施設の統合整備及び財政計画で構成します。

(3) 期間

本計画の期間は、平成17年度から平成27年度までの11カ年計画とします。

(4) 区域

本計画の区域は、3市町の全区域とします。

2．新市まちづくりの課題

笠間市は歴史、自然、文化芸術に特徴をおき、笠間焼や石材工業の地場産業を加えて観光都市として発展してきました。

友部町は、交通の要所として地理的にも恵まれおり、通勤・通学のための住宅地として発展してきました。

岩間町は、農業の近代化と付加価値のある農産物推奨により、農業経営基盤を拡充するとともに、近年は、工業団地の企業活動を中心に工業生産額が著しく伸びています。

茨城県の中央部に位置し、首都圏にも近く、恵まれた地理的条件をもつ新市が、産業と生活環境のバランスを保ち、また、観光面にも優れた機能を有する都市として、さらに充実、発展していくためには次のような課題解決が必要になります。

(1) 地域内の幹線道路網の拡充

本地域は平坦地が多く、可住地面積が136.7km²(平成16年3月現在県内第3位)と多いことから、地域内の移動は主に自動車に依存している状況ですが、本地域の中心を流れる涸沼川やJR各線などにより、市街地間の交流が分断されているという課題がみられています。

そこで、新市の一体感を醸成する意味でも、各地区の市街地を結ぶ幹線道路を早急に整備する必要があります。

(2) 恵まれた交通網の活用

本地域は、JR常磐線と水戸線、常磐自動車道と北関東自動車道が走り、6駅、2つのインターチェンジを有し、また、新たにインターチェンジが設置される予定になっており、交通の利便性がさらに高まる地域になることから「ひと」・「もの」の交流を活発化させることが、新市の発展を象徴するうえで重要な課題となります。

(3) 福祉環境の充実

本地域は、茨城県立の中央病院・地域がんセンター、友部病院、リハビリテーションセンター及び友部町立国保病院の公立医療機関が設置され、また、民間の一次医療機関が立地し、県内・地域内の開業医と連携した医療分野が拡充されています。

さらに、3市町に設置されている保健センターは、拠点施設として積極的に予防医療の提供に努めているところです。

これらの福祉施設や福祉資源を有機的に結びつけ、安心して子育てができる環境、高齢者が生活しやすい環境を充実し、住民が元気で生活できるまちづくりを進めていく必要があります。

(4) 自然、歴史と文化を活かした交流拠点づくり

本地域においては、吾国愛宕県立自然公園の吾国山や愛宕山、笠間県立自然公園の佐白山、北山など豊かな自然環境が保たれています。

また、多くの国指定の文化財や史跡を有しており、自然、歴史と文化いずれの面でも恵まれている地域といえます。これら、育まれてきた地域独自の文化は、観光資源としても活用されてきました。

今後とも、これらの地域の特徴は、住民にとって潤いのある生活空間を形成するだけでなく、交流拠点づくりにおいても重要な要素となります。

このようなことから、新市においても地域の特徴を活かし、自然と調和したまちづくりを進める必要があります。

(5) バランスのとれた産業の活性化

本地域は、水戸市を中心とする圏域及びつくば市・土浦市を中心とする圏域に近接しているながら、地域資源の有効活用が不十分で、このため農業や商工業など産業全般のバランスを保ち、観光資源を活用して発展していくまちづくりが求められています。

農業については、特産品の創出や地産地消を推進するとともに、近代化や付加価値の高い経営を促進するなど、経営基盤の強化と競争力のある農産物を生産していく必要があります。

商業については、既存の商店街、商業者にとって厳しい環境となっていることから、特徴を活かして差別化を図るなど、地域や商品流通の商業形態に柔軟に対応していく必要があります。

工業については、地理的優位性や恵まれた交通網を活用して、企業の経営拡大や新規の企業が立地しやすい環境を整えるなど、産業基盤を強化するとともに、地場産業を育成していくことが必要になります。

(6) 住民参画のまちづくりの推進

新市のまちづくりを進めていくため、3市町の住民の一体感を早期に醸成しながら、施策を積極的に展開していくことが最も重要になります。

このため、住民意向を反映した施策の展開を図るとともに、地域のボランティア団体など様々な団体と連携・協力しながら住民参加型のまちづくりを進めていくことが必要になります。

(7) 行財政運営の確立

社会環境の変化により、住民ニーズは多様化の一途をたどるなか、きめ細かな施策の提供は難しい状況になっています。

新市では、早期に効率的な組織体制を確立し、職員の政策能力や専門性を高めるなど、行政サービスの向上を図るとともに、効率的な財政運営を行い、併せて合併効果を反映させ、安定する財政基盤の確立を図る必要があります。

3. 新市まちづくりの基本理念

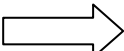
茨城県の中央部に位置し、鉄道や高速道路など高速交通網が発達している地理的優位性を十分に発揮し、新市が21世紀にふさわしい陸・海・空を結ぶ地域となるまちづくりを進めます。

 **地理的・交通優位性を活かしたまちづくり**

少子高齢化社会に対応した、保健・医療、福祉の充実に努めるとともに、防犯・防災体制を充実し、住民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

 **住民が安心して暮らせるまちづくり**

自然に恵まれ育んできた歴史や文化を活かし、交流拠点となるまちづくりを進めます。

 **環境に恵まれた交流拠点づくり**

住民の一体感が早期に醸成され、住民が主体となって取り組むまちづくりを進めます。

 **住民協働のまちづくり**

広域化・複雑多様化する行政需要に対応できる行財政の基盤強化に努めます。

 **行財政の基盤強化**

4. 新市の将来像

新市を建設していくため、まちづくりの基本理念をもとに、いままで以上に行政と住民のパートナーシップを強め、相互理解のもと、地理的優位性を活かした「笠間市」を築いていくことが必要になります。

新市の重点ビジョン及び将来像を次のとおり定めるものとします。

【新市まちづくりの重点ビジョン】

- ・ 恵まれた交通基盤を活かしたまちづくり

【新市の将来像】

- ・ 住みよいまち 訪れてよいまち 笠間市

この将来像は、茨城県の中央部に位置する地理的優位性を最大限に発揮し「陸」（恵まれた鉄道、高速道路網）・「海」（常陸那珂港を結ぶ北関東自動車道）・「空」（百里飛行場を結ぶ道路）を結ぶ地域として、これまで育んだ文化や伝統を活かし、住みよい環境づくりに努め、情報発信に力を入れたまちづくりを目指すものです。

5 . 土地利用構想

新市は平坦な地形が広がる地域となっていることから、JR鉄道網や高速自動車道、国道及び県道など広域幹線道路を中心として道路網が整備されてきました。

友部地区では宅地開発が進み、笠間地区では商業の集積化が図られ、岩間地区では工業団地が整備され、地域の特長を活かした土地利用が行われてきました。

このような経過を踏まえ、今後の土地利用についても、3市町がすでに策定している都市計画マスタープラン等を活用し、開発及び保全のバランスを十分考慮して、民間活力と連携しながら進めていきます。

(1) 将来人口・世帯

新市の将来人口については、少子高齢化や過去の人口構成等の変化を踏まえ、10年後は約84,000人と想定しています。

年齢階層区分については、今後も高齢化がこの地域においても進むことから、年少人口(0~14歳)約12.9%、生産年齢人口(15~64歳)約61.2%、老年人口(65歳以上)約25.9%と見込みます。

世帯の構成についても核家族化が進むものと想定します。

(2) 整備・開発の方針

新市では、笠間地区上加賀田地内の北関東自動車道拠点整備事業、友部地区北川根地内の総合流通センター整備事業、岩間地区常磐自動車道岩間IC周辺の開発事業など、開発予定地域が存在し、これからも環境保全に注意し、民間活力等を活かして整備を進めます。

都市施設については、新市の一体感を早期に醸成する広域交通網を整備するとともに、観光資源のアクセスを強化するなど、地域が安定して発展できるよう配慮するものとしします。

(3) 保全の方針

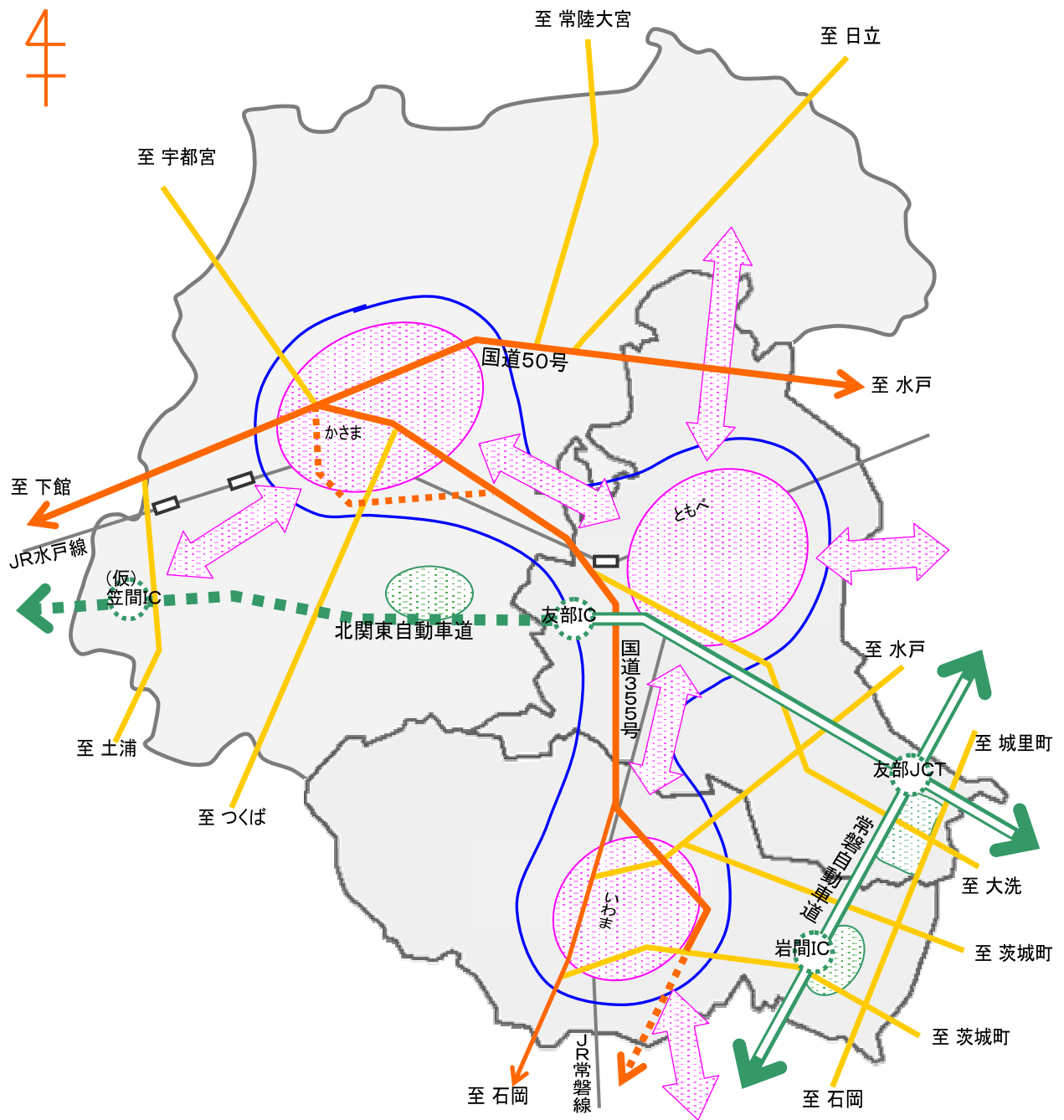
本地域は、吾国愛宕県立自然公園、笠間県立自然公園、野口池自然環境保全地域に代表されるように、自然環境に恵まれた地域となっており、また、全域的に農地が保全されるなど豊かな自然環境が残されています。これらは観光レクリエーション面でも優位な要素となっていることから、今後とも自然環境の保全に努めるものとしします。

【表5】地目別土地利用

(面積：m²，構成比：%)

	田	畑	宅地	山林・原野	その他	計
面積	29,424	35,661	21,263	90,156	63,746	240,250
構成比	12.2	14.8	8.9	37.5	26.6	100.0

土地利用構想図



凡 例			
	高速道路		市街地
	国 道		市街地の連携
	主要地方道		
	鉄 道		